

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月26日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	宇城市	代表者名	守田 憲史
担当者部署	健康福祉部	連絡先電話番号	0964-32-1387
担当者役職	主査	担当者氏名	寺田 宣正
住所	869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85番地		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三谷 泰浩
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本市は、避難所運営等(準備、運用、報告、判断)をICT化を図ることで、住民負担の軽減、より効果的な避難所の提供、マンパワー頼りの解消、対応時間の削減、職員の業務練度の向上を趣旨とし、本年度はノウハウの取得を目指し、次年度システムについての事業化検討をしているところであった。今回の第1回協議にて、既にアドバイザーにてシステム開発を進めている経緯があり、ノウハウの取得ではなく、システムを動かしながら、宇城市の目指す方向性に調整していく方策が準備できることを示唆いただいた。第1歩目を踏み出す予定が、第1走の助走をし始めることができたのではないかと。
アドバイザーへの要望事項	次回、オンライン会議では、アドバイザーより教示いただいたシステムを活用した宇城市の方針を提示、事業化への道筋を話合うことになっている。次回の支援時ではその内容を踏まえた議論を展開していきたい。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月20日	13時00分	14時30分		90
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	
	本市の避難所運営については、紙媒体の避難所カードの記入といった住民負担、避難者についてのアナログ管理、避難所従事職員の練度不足、消耗品やコロナ対策備品、備蓄・物資などの管理の煩雑など諸所の問題をかかえ、その運用を紙媒体とマンパワーで運用しており、住民に負担をかけ、職員負担の増加し、避難情報のデータ蓄積及び活用ができていないという諸所の問題を抱えている。	
	支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	
	避難所運営がアナログ処理(避難者カード、引継ぎ資料などが紙媒体)であるため、住民への負担増となっており、ICT化を進めることで、避難所運営を効率化したい。そのため、事業化に向けた情報・ノウハウの情報収集などを通じて、計画等の策定を目指す。	
	アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	
	・ノウハウや計画の策定を主とすると、考えるだけで終わってしまいます。システム環境は絶えず進歩しているため、数年後には陳腐化してしまうため、策定時と導入時にシステムの差が生じることになる。 ・インストール型システムではなく、クラウド型システムの方がシステムが最新の状況に合わせたシステムとなる ・システムは実証実験を行いながら、宇城市の状況に合わせてカスタマイズする方が実践的ではないだろうか ・個人情報の取得については、用途先によって本当に取得した方がよいのか検討が必要	
	支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	
	・個人情報の取得については、本当に必要なことなのか、実は数字のみの把握でことが避難所運営としては充足するのではないかという指摘は、考え方の良い気づきとなった ・実証実験を行いながら、宇城市の状況に合わせてカスタマイズしていくという手法は、より実践的な試みと感じられ、前向きに検討したいと思われた	
	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・次回オンライン会議では、実証実験開始のための導入するシステムについて協議する	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 初回のオンライン会議ということもあり、まずは顔合わせ、方針のすり合わせを行ったため、具体的な事業支援は次回からを予定しているため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	本市の実情に合わせたICTにより避難所運営の事業化	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

